

2022年4月1日

株式会社 TBM

株式会社 PRODUCT DESIGN CENTER

報道関係者各位

**TBM と PRODUCT DESIGN CENTER 代表の鈴木啓太氏が協業。
リサイクル可能なオリジナル素材を用いた「TBM 100」のシリーズ制作に加え、
EC サイト「ZAIMA」にて特別セレクションを今春発表。**

株式会社 TBM（本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：山崎敦義、以下 TBM）は、国内外で複合的なデザイン事業を手がける株式会社 PRODUCT DESIGN CENTER（本社：東京都港区、代表取締役：鈴木啓太、以下 PDC）をパートナーとして迎えました。PDC は新規商品開発やクリエイティブディレクションに加え、TBM が運営する EC サイト、「ZAIMA（ザイマ）」においても独自の視点を生かしたセレクト商品の企画を担っていきます。

協業の第一弾として、TBM が独自開発したりサイクル可能な新素材、「LIMEX（ライメックス）」や「CirculeX（サーキュレックス）」等を使用した 100 プロダクトを展開する「TBM 100」コレクションを発表。2022 年 4 月 1 日より始まった通称「プラ新法（プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律）」の施行に伴い、高まるプラスチック代替素材へのニーズにこたえ、需要増が見込まれるカトラリーから展開を開始します。

また第二弾では、サステナビリティに配慮したプロダクト販売を行う TBM の EC サイト ZAIMA にて、もの作りの歴史に精通する、鈴木啓太氏の視点を生かしたセレクションを展開。TBM が追い求めてきた「未来の豊かさ」に、鈴木氏ならではの美しいもの作りへの敬意を加え、お客様がご自身にとっての「永遠の定番」を見つけることができるラインナップを「HERITAGE SELECTION by Keita Suzuki」と題しお届けします。両社のパートナーシップを通じてお互いの開発力と創造性を高め合い、次世代のサステナビリティを共に創り上げていきます。

TBM の運営する EC サイト ZAIMA >> <https://zaima.in/>



■ TBM 100 について

TBM 100 とは、TBM が独自開発したリサイクル可能な新素材を用いた、100 のプロダクトからなるオリジナルコレクション。2022 年 4 月施行の通称「プラ新法」で制定された使い捨てカトラリーの一部有料化に伴い、「マイ・カトラリー」需要の増加を見据え、今春からカトラリーケースの展開を「ZAIMA」にて開始します。



開発中の「カトラリーケース」イメージ

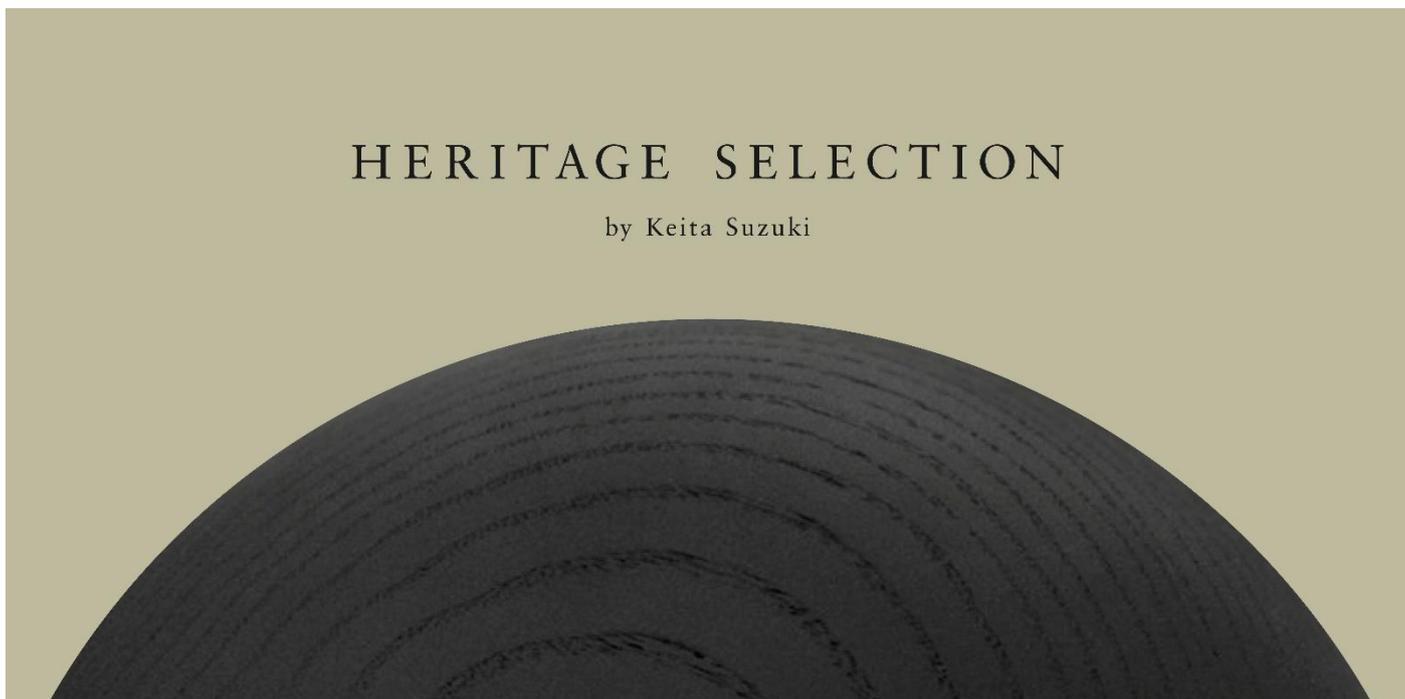
TBM 100 のカトラリーケースセットに関するお問い合わせは、専用フォーム(<https://tb-m.com/contact/>) よりご連絡ください。

■ HERITAGE SELECTION by Keita Suzuki について

「HERITAGE SELECTION by Keita Suzuki」とは、長い歴史のなかで人類が築き上げてきたもの作りの美と技術に、鈴木啓太氏が敬意を示したコレクションです。ヨーロッパのヴィンテージアイテムからまだ魅力を知られていない日本の伝統工芸品など、自分だけのシグニチャーを見つけ、大切に使い続けることができる逸品が揃います。

HERITAGE SELECTION

by Keita Suzuki



■ コメント

株式会社 TBM 執行役員 CMO 笹木 隆之

— ZAIMA は未来への意志を持って、「買い物」の常識を変えていく —
鈴木さん始め PDC の方々を、TBM が進みたい未来へたどりつくための架け橋となるパートナーとしてお迎えできたことを心から嬉しく思っています。そして、美意識と機能性を融合させたデザインで、国内外のプロジェクトを牽引されている鈴木さんとの出会いに敬意を表します。我々 TBM が、「サステナビリティ革命」を実現する使命を自覚し、強い意志を持ち、思い描き、挑戦し、自らが未来を創りあげるためには、社会や人間の「価値観のモノサシ」にイノベーションを起こさなければなりません。PDC との共創により、美しく、優れたクリエイティビティにより生み出される ZAIMA のプロダクトを通じて、次代の価値観のモノサシを作り、新たな常識が定番として社会に浸透していくことを願ってやみません。



株式会社 PRODUCT DESIGN CENTER 代表取締役 鈴木 啓太

— 「循環そのもの」をデザインし、美しい未来を創る —
「美しいもので満たされた社会を実現したい」と常々考えてきた僕にとって、TBM さんとの出会いは大きな刺激となりました。ただ局地的に生産し最新素材を提供するだけでなく、開発からリサイクルする仕組みまで、「すべての循環をデザインする」という視点が素晴らしい。行政機関との連携を含む、総合的な事業の実行力にも共感します。さらにこの試みが「次世代の当たり前」となるよう、時代を超えて支持され続ける「用の美」の感性をもたらしたいと思っています。培ってきた経験や見識をいかしながら、心強いパートナーとともに多くのアイデアを実現し、美しい未来を築けることにワクワクしています。



■ LIMEX (ライメックス) とは <https://tb-m.com/limex/about>

LIMEX は、炭酸カルシウム等、無機物を 50%以上含む、無機フィラー分散系の複合素材です。LIMEX は 8,000 以上の企業や自治体にて採用されており、世界 40 ヶ国以上で特許を取得、COP や G20 の国際会議で紹介される他、日本の優れた技術として、UNIDO (国際連合工業開発機関) のサステナブル技術普及プラットフォーム「STePP」に登録されています。プラスチックや紙の代替製品を製造する際に使用する石油や水や森林資源等枯渇リスクの高い資源の保全に貢献することが可能です。また、ライフサイクルアセスメント (LCA) という科学的分析手法を用いて、製品の原材料調達から生産、流通、使用、廃棄に至るまでのライフサイクルにおける環境影響を算定し、素材開発に活用しています。

<石灰石について>

LIMEX の主原料である石灰石は地球上に豊富に存在し、資源輸入国である日本においても自給自足可能な資源です。そのため原油価格の変動に左右される石油由来プラスチック等と比較して、安定した価格での原料調達が可能であり、その供給面においても安定性を有しています。さらに、石灰石は環境保全性において、石油由来プラスチックと比較して、原材料調達段階の CO₂ 排出量を約 50 分の 1 に抑えることができ、焼却時の CO₂ 排出量を約 58%削減できます。

<リサイクルについて>

LIMEX は、無機成分を主成分とする無機・有機複合マテリアルの JSA 規格 (JSA-S1008) の対象素材であり、LIMEX の主要構成素材である無機物と熱可塑性樹脂を分離することなく再生利用が可能であるため、単一素材で設計された製品と同様、再資源化の可能性が担保されています。これまでに事業者や消費者、自治体と連携し、既存のリサイクル設備を活用した LIMEX のマテリアルリサイクルの取り組みを数多く実施しています。

■ 鈴木啓太 - PRODUCT DESIGN CENTER 代表 <https://productdesigncenter.jp>

1982 年生まれ。プロダクトデザインセンター代表。古美術コレクターだった祖父の影響で、もの作りを始める。美意識と機能性を融合させたデザインで、国内外のプロジェクトを牽引。さまざまな素材を駆使した日用品から電車車両などの公共分野のデザイン、展覧会のプランニングや空間構成、また他企業や研究機関と共同で行う新素材開発のディレクションまで、活動は多岐にわたっている。

多摩美術大学プロダクトデザイン専攻卒業。2012 年プロダクトデザインセンター設立。2015 年「サンティティエンヌ国際デザインビエンナーレ」に「富士山グラス」が招待出品。2018 年には初個展となる「鈴木啓太の線：LINE by Keita Suzuki」を柳宗理記念デザイン研究所で開催。同場所で柳宗理氏以外のデザイナーの初の展覧会となった。2019 年、車両のプロダクトデザインを担当した『相模鉄道 20000 系』がローレル賞受賞。2015 年-2017 年グッドデザイン賞 最年少審査委員。

■ 会社概要

株式会社 TBM

代表取締役 CEO : 山崎 敦義

本社 : 東京都千代田区有楽町 1-2-2 15F

設立 : 2011 年

資本金 : 234 億 2993 万円 (資本準備金含む) / 2021 年 7 月時点

事業内容 : 環境配慮型の素材開発及び製品の製造、販売、資源循環を促進する事業等

URL : <https://tb-m.com/>

株式会社 PRODUCT DESIGN CENTER

代表取締役 : 鈴木 啓太

本社 : 東京都港区南青山 4-9-18 NVA Bldg.1F

設立 : 2012 年

事業内容 : プロダクトデザイン、クリエイティブディレクション、新素材の共同開発、展覧会ディレクション等

URL : <https://productdesigncenter.jp/>

* 本リリースに記載された会社名および商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本リリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

————— この件に関するお問い合わせ先 —————

株式会社 TBM ブランド&コミュニケーションセンター 酒井菜摘

TEL: 03-6268-8915 Email: pr@tb-m.com